

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和2年度)

調査表

施設名	県営国民宿舎えびの高原荘 県営えびの高原スポーツレクリエーション施設
指定管理者	宮交ショッピングアンドレストラン株式会社
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
県所管部課	商工観光労働部 観光経済交流局 観光推進課

1 施設利用状況

指標	R2	R1	H30	増減理由等
宿泊者数	62	8,756	8,043	新型コロナウイルス感染症の影響等により、国民宿舎は令和2年5月1日～令和3年3月31日の間休業し、アイススケート場も、利用期間及び利用時間を短縮したため、利用者数が大幅に落ち込んだ。
温泉利用者数	399	20,519	15,099	
スポレク施設利用者数	11,146	27,521	38,086	
コメント	現在も県道1号線の通行止めは継続中であり、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮すると、今後も厳しい状況が続くことが想定される。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R2	R1	H30	支出	R2	R1	H30
宿泊等売上	804	100,505	82,270	県納付金	12,650	15,587	0
スポレク施設売上	18,256	45,727	62,668	人件費	76,519	83,889	79,400
温泉・飲食・売店等	1,728	42,128	34,087	仕入材料費	1,986	40,663	35,537
				管理・事務費	43,916	84,955	89,349
合計(①)	20,788	188,360	179,025	合計(②)	135,071	225,094	204,286
収支差額(①-②)	-114,283	-36,734	-25,261				
コメント	硫黄山、新燃岳の活発な活動と県道1号の通行止めといった自然災害に起因する影響等により、厳しい収支状況となっている。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮すると、今後も厳しい状況が続くことが想定される。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和2年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃、定期清掃(本館・宿泊等壁、家族湯庭園、駐車場)、受水槽(年2回)、浄化槽清掃(毎月)
	保守・点検	飲料水水質検査(年3回)、汚水処理施設(月2回)、高圧受電盤(毎月)、給湯用ボイラー(年2回)、昇降機(年4回)、温泉水レジオネラ検査、アイススケート場冷凍機器保守点検
	警備	警備専門職員の配置等による24時間警備の実施、警備日誌、防火管理者の設置
	修繕	スケート場冷却塔冷却水管溶接、浴室・トイレ修繕等
	備品等管理	定期的な点検・補修の実施
	安全対策	避難訓練・噴火時の対応訓練(年2回)、自主防災講習、安全運転管理者講習、食中毒防止対策教育
	その他	閑散期のコスト削減対策、適正人員の配置・シフト管理、在庫管理の徹底
企画運営業務	サービス提供体制整備	-
	イベント等ソフト面充実	-
	施設設備等ハード面充実	新型コロナウイルス感染症対策として、円滑な換気や接触による感染の予防に資する設備等の改修等の受入環境の整備を行った。
	その他	-
管理運営体制	-	
コメント	新型コロナウイルス感染症の影響等により長期間休業したが、施設の維持管理業務に加え、新型コロナウイルス感染症対策の施設改修業務を適正に実行した。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	-	
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等	
-	-	
-	-	
-	-	

5 総合評価

評価コメント	新型コロナウイルス感染症の影響等により長期間休業したが、施設の維持管理業務に加え、新型コロナウイルス感染症対策の施設改修業務を適正に実行し、必要な管理運営体制のもと、協定書等に基づき、概ね適正な管理運営が行われた。
今後の課題と対応	えびの高原へのメインルートである県道1号線の通行止めが現在も継続中であり、利用者を増やし、収支を改善するための取組をより一層強化する必要がある。